

つなぐ



諫早市立大草小学校  
特別支援教育  
コーディネーターだより  
H31.1.9 No.31  
文責 林田

## ☺ 3学期スタート! 構え(準備)はOK? ☺

17日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。子どもたちの元気な姿は、私たちにもパワーを与えてくれます。☺ 始業式に登校した子どもたちの様子を見てみると、心と体の準備がばっちり整っている感じがしました。冬休み中、保護者の皆さんが、お子さんの健康管理に心を配ってくださったことに改めて感謝申し上げます。



失敗体験よりも、成功体験の積み重ねで自信をつけさせたいですね。☺

一方、シューズを履いていない子や、提出物を忘れて困った顔をしている子も見受けられました。それぞれの担任は、「明日持っておいでね」と声をかけていたようですが、せめて始業式の日ぐらいは、忘れ物をしないように…と願うのは無理な話でしょうか？

各担任は、準備物を連絡帳に書かせたり、学級通信等で連絡したりして、忘れ物がないように「伝えて(発信して)」います。

では、受け手である子どもたち(保護者の皆さん)はいかがでしょうか?発信されたものをうまく活用できているのでしょうか?

「もう高学年だから」「自分のことは自分で」「忘れたら自分の責任」という考えもあるかもしれません。何も、全てに保護者が関わらなければいけないとは考えてはいません。

「学期の始まりだから、忘れ物をしないようにして、気持ちよくスタートしたいね。」という言葉だけでなく、その子に合った支援をしていくことは大切です。時には、「こんなふうにすると、忘れ物しないよ。」と教えたり、確認したり、「どうやったら入れ忘れなく準備できると思う?」と考えさせたりすることも必要です。

高学年になると「反抗期」の時期に入り、なかなか親の言う事に素直に耳を貸さなくなりますので、できるだけ年齢が低いうちに「あるべき姿」をやって見せ、まねをさせることは大切だと思います。

3学期は、「知っている」ことを「できるようになる」ことを目標に頑張らせていきます。例えば、小さなことですが、子どもたちが家庭で道具の準備をする時に、筆箱の中の鉛筆を削ることも大切な準備だと伝え、できるようになるまで指導を続けていきます。

ご家庭では、今年はどんな手立てを講じようか…と作戦を立てて、お子さんができることを少しずつ増やしていきましょう。



始業式の準備は、できたかな?



がんばろう!

## ☺ 次のステップに向けて ☺

3学期は1年間のまとめの学期であるとともに、次の学年に向けた準備の学期でもあります。今まで継続して指導してきたことがどこまで伸びたか見極め、次のステップにつなげていかなければなりません。

「満足できるもの」「あと一歩」「違う方法を考えよう」など、1年間の振り返りをしながら、スムーズに次の学年に進むことができるように準備をしていきたいものです。学校の方では当然記録を引き継ぎますので、ご家庭でもぜひ取り組まれてみてください。

やった!  
ぼつりできたよ!



おしい!  
あと一歩!



まだ出来るいからと  
いって、落ち込む姿勢は  
ありません。

3学期も、保護者の皆さんと情報交換をしながら、子どもたちを育てていけたら幸いです。m( )m